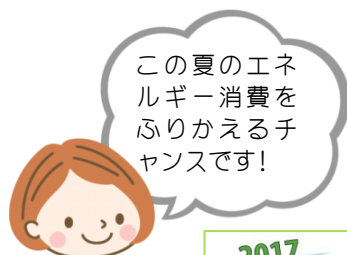


市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 55
秋号
平成 29 年
(2017)

環境ひらかた



2017 ひらかた夏の省エネコンテスト



■まもなく応募受付が始まります■

準備は OK ですか？

受付期間 10/10～10/20

2012 年に夏の節電コンテストがスタートしました。6 回目の夏が過ぎ“節電”コンテストも 2015 年からは“省エネ”コンテストとして、対象を拡大して取り組んでいます。

毎年取り組んでおられる方や、この取り組みをご存知の方には、すっかり定着した感のある“省エネ”意識ですが、ひらかた市民全体を見たときにはどうでしょう。

ある調査によると、節電を意識している人の割合は 5 割強という数字が出ています。さて枚方市に限定すればどれぐらいの数字になるでしょう。

省エネを意識しているならぜひコンテストにご参加ください。お楽しみも満載です。



*****目次*****

ひらかた夏の省エネコンテスト	P 1
新 ごみ減量アイデアコンテスト	P 2・3
各部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL. 21	P 7
ちょっとお得なエコライフ情報	P 8

新しい取り組み

ごみ減量アイデアコンテスト

応募されましたか？



昨年の秋号で、ごみ減量啓発事業の取り組みスタートの報告をしました。1年の準備期間を経ていよいよこの夏、ごみ減量啓発事業として「ごみ減量アイデアコンテスト」を実施しました。募集チラシを目にされた方もあると思います。

「アイデアを！」と、改めて聞かれるとなかなか出てこないのかもしれませんが、9月10日の締め切り時における応募総数は76通で、目標とした50通をクリアすることができました。又、今回クラス全員で取り組んで下さった学校もあり、感謝しています。

応募用紙には、丁寧に絵が描かれていたり、びっしりとアイデア(考え?)が書かれていたり、また何個ものアイデアを書いてあるものもあり、どれもみなごみ減量に対する、関心の強さが伝わってきます。

応募作品を審査し、選ばれた作品はごみ減量フェアにて表彰する予定をしています。

たくさんのことを学んだ 環境ミニ講座 ～インターン生 研修から～

今回私たちは、環境ミニ講座の中で「食と環境」をテーマとしたクイズを担当しました。試行錯誤して内容を練り上げていく過程はとても大変なものでしたが、充実した時間でした。当日はイベントに携わる者の心構え、参加者の方々と交流することの楽しさ、人前で話を展開させていくことの難しさ等、たくさんの学びがありました。

- 実際に出題したクイズの一例です！ ■■
■■ 皆さんもチャレンジしてみてください ■■

Q1. 暑い夏の時期にきゅうりを食べることは、エコにつながっている ○か×か？

Q2. ジャガイモやニンジンなどの野菜は洗ってから皮をむく。○か×か？



Q1 の答え ○

Q2 の答え ×

今夏 インターン生が大活躍!!

ひらかた環境ネットワーク会議では、毎年春と夏、インターン生を受け入れていることをご存知でしょうか。

今年の夏は、8月8日から8月30日までの間の11日間、龍谷大学から2名のインターン生が研修に来てくれました。

研修期間中に実施した、五六市での「省エネコンテスト」と「ごみ減量アイデアコンテスト」そして「バス！のってスタンプラリー」のPRのための街宣活動や、自然エネルギー学校、そしてミニ講座で大きな頑張りをを見せてくれました。



ミニ講座での様子



自然エネルギー学校でも活躍

多くのことを学んだインターンシップ

インターンシップに来る前は不安でいっぱいでした。失敗しないようにしないといけない、教えて下さったことを身に付けないといけないという気持ちでした。ひらかた環境ネットに来ている人たちはとてもいい人ばかりでしたので、時間が経つにつれて不安はなくなりました。なので、充実した実習を送ることができました。様々な体験をさせていただき大学では学ぶことができないことを学ばせていただきました。このインターンシップで身につけたことは今後活かしていきたいです。



谷 優佑

ものごとの根底の大切さを実感

実際にイベントに参加し、企画立案、実践、振り返り、そしてそれを次につなげるという一連のサイクルを教えていただきました。様々な方と交流することの楽しさ、発信することの素晴らしさを日々感じる一方、その時々で人に“伝える”ことの難しさを何度も痛感しました。言葉の表現方法を吟味すること、根本となる思い（信念）の強さがいかに重要であるか、物事を多角面から検討することの大切さ…。11日間という短い期間ながらも本当に幅広く様々な事を学ばせていただきました。この貴重な経験をぜひ今後につなげていこうと思います。



喜屋武 舞



部会活動紹介

環境教育部会

去年の成果が今年に繋がって…

昨年度、桜丘小学校で、全学年を対象に出前授業を行ったことを耳にされた方もあるかと思います。その成果が評価されて（？）今年度も10月21日と年明け1月20日に、昨年同様、全学年を対象とした出前授業の依頼を受けました。

昨年と同様といっても、まるっきり同じというのでは進歩がありません。プログラムを見直しブラッシュアップをすると共に、新たなプログラムも加えた出前授業ができるよう、部会員一同議論と研鑽を重ね、進化形のプログラムで臨みたいと思って頑張っています。

しかし、マンパワーに若干の不安があるのも否めません。環境教育に興味関心のある方は、ぜひ部会活動に参加してみてください。

子どもたちとの触れ合いの中で、自身も気付かされることがたくさんあると思います。



自然エネルギー部会

暗雲に光が！ こもれば水路で実験実施

前号の会報誌夏号で「ピコ水力発電装置の常設計画に暗雲が！」の見出しで、装置の「設置は無理」「許可できない」との回答があったとの報告をしました。

今回はその続きです。その後どうなったか、みなさんも興味を持っていただいているでしょうか？

一時はどうしたものかと頭を抱える事態となったのですが、その後、環境保全課とも一緒に、何とかこの取り組みを進めたいとの思いで、こもれば水路の管理担当部署と話し合いをもち、環境保全課職員の尽力もあって、実験的な一時使用が認められることになりました。

10月21日の「自然エネルギー学校」で、いよいよ実験です。

次回冬号での報告をお楽しみに！





まちづくり部会

第1回

まちづくり講座を実施しました



まちづくり部会では、取り組みのひとつである「まち並み保存の推進」の一環として、自分たちの住んでいるまちの歴史的文化遺産や歴史的景観、新しい施設などを知ってもらい、皆さんに安全で快適な住みよいまちづくりに活かしてもらう活動をしています。

これまでウォーキングイベントやフォトラリーを実施してきましたが、本年度新たな取り組みとして、市民の方とさらに密着し共に枚方のこれからのまちづくりを考えていく意見交換の場となる「まちづくり講座」を行うことになり、8月12日（土）にその第一回を行うことができました。



今回は地域の方のリクエストで「天皇と枚方」をテーマに実施しました。会場に集まった約50名の方々が語り部の話に耳を傾けてくださいました。アンケートの結果も、「良かった」「ためになった」「面白かった」という意見が多く、お住まいの地域についても「興味をもった」という意見がほとんどでした。

意見交換の時間がとれなかったこと、また「映像や資料がほしかった」という意見もいただき、今後活かして行くと共に、今後も安全で快適な住みよいまちづくりのため、この講座を続けていきたいと思っています。

公共交通部会



「バス！のってスタンプラリー」

枚方市政70周年記念イベントとして実施

9月10日、好天に恵まれ、枚方市制施行70周年記念イベントとして、第25回バス！のってスタンプラリーを実施しました。今回は記念イベントとあって、いつもとは一味違ったスタンプラリーになりました。オープニングにはひこぼしくんとおりひめちゃんも駆けつけて、京阪バスの制服を着た子供達と特別仕立てのギャラリーバスの前で写真撮影会。岡東中央公園では、環境教育部会の協力による「ソーラースクーター・ソーラー噴水・自転車発電の体験」や枚方テクノカレッジの「楽しく体感・電気の世界 電気の流れ」などと「ハイテク版糸電話コーナー」を、また「国内外の電車・バス写真パネル」も展示し賑いました。



ゴミ減量フェアに出展

毎年 11 月の第一日曜日に行われているゴミ減量フェア。市民によるフリーマーケットや、市職員によるリサイクル品の無料抽選会など、ゴミ減量啓発イベントとして実施されています。16 回目となる今年は下記の通り開催されます。

このゴミ減量フェアに、ひらかた環境ネットワーク会議も、毎年環境保全課とともにブース出展を行っていることをみなさんご存知でしたか？今年は大ガスさん、関電さん、関西リサイクルシステムズさんと一緒にブースを盛り上げます。ぜひ皆さんのぞきに來てください。



記

開催日時：2017 年 11 月 5 日 10:00～15:00

開催場所：穂谷川清掃工場

*****後期環境ミニ講座が始まります*****

毎回好評をいただいている環境ミニ講座の後期がスタートします。

後期第 1 回目は「簡単クッキーづくり」です。もちろん料理教室でもお菓子作り教室でもないので、“簡単”クッキーづくりは、環境を考えてもらうためのきっかけなのです。

第 1 回の簡単クッキーづくりでは、何が、どんなことが環境と関わっているのか、参加者にしっかりと伝えたいと思っています。

詳細は、公共施設に設置のチラシ、ひらかた環境ネットワーク事務局のお問合せ下さい。

四季の写真・投稿を募集しています

H・P のトップページに使用する写真を募集しています。

お手持ちの写真でも、改めて撮って頂いたものでも結構です。枚方の四季が感じられるものや、環境問題に関係するような題材のものなどご提供ください。

会報誌への投稿もお待ちしています。

環境問題について、普段感じていることや、考えていることなど、また、身の回りで起きている環境の異変など、200～300 字程度にまとめて投稿ください。

随時受け付けています。



枚方八景 山田池の月



枚方八景 香里団地の並木

* 投稿いただいた原稿及び写真の著作権は当法人に帰属するものとします *

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「エネルギー基本計画」「耳慣れない言葉…ZEH（ゼッチ）」です。

◆ エネルギー基本計画

中長期のエネルギー政策の指針である「エネルギー基本計画」ですが、現行の計画は平成26年に閣議決定されました。法令は策定から約3年での検討を求めており、その見直し年となる今年、経済産業省は8月30日、2050年を見すえたエネルギー政策のあり方を議論する「エネルギー情勢懇談会」を立ち上げ、1日その初会合を開きました。現行の計画では原発を安定的な「ベースロード電源」と位置付ける一方、東日本大震災での福島第一原発事故を受け、依存度を「可能な限り低減させる」と明記されてはいるものの、再エネに大きくかじを取っていくというには程遠い内容となっています。

地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」の発効などを踏まえ、委員からは「脱・化石燃料」を訴える声が相次ぎ、原発の必要性を強調する意見も出たそうです。原発については、世界の潮流をみても先進国を中心に全廃や大幅削減を目指す動きが広がっており、国内でも国民の多くが再稼働に反対しています。そんな中で、新しい「エネルギー基本計画」の策定に向け、どのような話し合いがなされるのか注目していきたいものです。

◆ 耳慣れない言葉…ZEH（ゼッチ）

ZEHとは、Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー）の略で、外側の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅をいいます。

2015年12月にZEHロードマップが経済産業省より発表されました。それによると、ZEHとは、「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅」としており、エネルギー基本計画でも、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までにほぼ全ての新築住宅でZEHを実現することを目指す」とされています。こうした計画の下で、様々な補助金制度が実施されているわけですが、私たちはあまりそうしたことを知らずに補助金を受けているのではないのでしょうか。

ちなみにこの事業“住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業”における国の予算額は2016年度110億円でしたが、2018年度の概算要求額は774億円です。

ちょっと



お得な エコライフ情報!!



eco eco eco eco eco eco eco

暑かった夏もようやく過ぎ、“秋”を感じられるようになりました。一年中で一番(?) 気持ちのいい季節。食欲の秋! 読書の秋! スポーツの秋! 皆さんはどんな“秋”されますか?

今回は“食欲の秋”にちなんで、「食」にまつわるエコなアイデア 2 点ご紹介します。

秋野菜で健康に!

上手に使おう秋野菜

里芋、レンコン、サツマイモ、インゲン豆、そしてキノコ類。これらを耐熱容器に入れてレンジでチンで手間いらず。エネルギー消費も少なく簡単です。



ご飯の炊飯器保温は 4 時間まで!

それ以上は食べる時にチンするほうが...

1 日分を 1 度に炊いてそのまま保温...

それダメ! です。

4 時間以内なら、そのまま保温するほうが消費電力は少なく、それ以上の場合は、食べる時にチンするほうが消費電力が少なくて済みます。



みなさんに会報誌への投稿を呼びかけていますが、なかなか投稿してくださる方はおられません。以前非常に身近な方からの投稿がありましたが、今回初めて一般の方から投稿いただきましたのでご紹介します。

竹の皮の復権を祈る

香里丘在住 間瀬純次

近年ふと気がつくコンビニ弁当の割り箸が変わっている。形状は四角から丸へ、そして材質が竹になっている。使い捨てにしては高級すぎるような出来映えだ。おそらく加工上の技術面と材料調達の面から、コストに見合った生産が実現したのである。一方、7 月 24 日付の読売新聞には、1950 年代以降に世界中で発生したプラスチックごみが 63 億トンにのぼり、うち 49 億トンは処分場や自然環境にごみとして蓄積しているとの推計が紹介されていた。コンビニ弁当で割り箸の材料に竹が活躍しているのだから、物を包む分野では、竹の皮が復権して欲しいと願うのですが……。転換の拡がりに期待!

ひとこと



今回も無事に間に合わせることができホッとしています。環境ネットワーク会議の活動をより多くの人に少しでも知ってもらおうと、また環境を取り巻く情報の、そのさわりだけでもお伝えしたいと、毎回悪戦苦闘しています。

そんな中、投稿原稿が届いたのです。この喜びをどのようにお伝えすればいいか……。嬉しい限りです。これに続いて、もっともっと多くの方から、投稿が寄せられることを期待したいと思います。(子)

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第55号

平成 29 年 10 月 1 日発行 (年 4 回発行)

発行: (特活) ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サブリ村野内 (旧村野小学校)

電話 072-847-2286 FAX 072-807-7873

E メール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者: 伊丹 均

編集責任者: 丸井 晶子

